

後藤新平の台湾

渡辺利夫・著

中央公論新社

一七六〇円

日清戦争後、おちた夥しい帰還

兵の検疫を行つた後藤新平。

関東大震災からの復興を主

導した人物として有名だ。

しかし開発経済学の泰斗た

る著者は、この間日本を離

れ、台湾統治を推進した八

年間にその真価を見る。

「人間には自治の本能があ

る」。この思想を携え、疫

病やアヘン、ゲリラが蔓延

る台湾に赴任。徹底した民

俗調査の上でアヘンを段階

的に抑制し、総督・児玉源

太郎という力強い同志を得

各地の自立した村々の力を

利用してゲリラを鎮圧して

いった。人間の本质を見抜

き、大業を成した為政者の

足跡に学ばされる。

